

# 事務事業チェックシート

事務事業No 271 事業名 市民ボランティア養成講座開催事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	2	高齢者・障害者支援の充実
施策	1	高齢者の生活の充実
基本方針	1	高齢者の心身機能の維持向上の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他	○		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	介護保険事業特別会計		
	款	地域支援事業費		
	項	介護予防事業費		
	目	一次予防事業費		
	大事業	一次予防事業		
事項	地域介護予防活動支援事業			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H18 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	地域包括支援課	小田 明美 (435-1197)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市内在住の60歳以上の高齢者を公募し、自らの体力向上のみならず、地域社会において介護予防活動を普及できる人材を育成することを目的とする。	全12回程度の講座を週1回開催し、介護予防についての知識や「わかやまシニアエクササイズ」を講義や実技で学ぶ。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		「和歌山市シニアトレーニング」を円滑に展開するため、市内在住の一般高齢者からボランティアを募り1クール（3ヶ月）の養成講座を開催する。和歌山大学が運動指導を行い、地域活動の中で介護予防活動を普及できる人材を育成する。	「和歌山市シニアトレーニング」を円滑に展開するため、市内在住の一般高齢者からボランティアを募り1クール（3ヶ月）の養成講座を開催する。和歌山大学が運動指導を行い、地域活動の中で介護予防活動を普及できる人材を育成する。	「和歌山市シニアトレーニング」を円滑に展開するため、市内在住の一般高齢者からボランティアを募り1クール（3ヶ月）の養成講座を開催する。和歌山大学が運動指導を行い、地域活動の中で介護予防活動を普及できる人材を育成する。	「和歌山市シニアトレーニング」を円滑に展開するため、市内在住の一般高齢者からボランティアを募り1クール（3ヶ月）の養成講座を開催する。和歌山大学が運動指導を行い、地域活動の中で介護予防活動を普及できる人材を育成する。	「和歌山市シニアトレーニング」を円滑に展開するため、市内在住の一般高齢者からボランティアを募り1クール（3ヶ月）の養成講座を開催する。和歌山大学が運動指導を行い、地域活動の中で介護予防活動を普及できる人材を育成する。

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,684	1,684	1,804	1,804	1,744		1,744		1,744	
伸び率 (%)	-	-	7.1%		-3.3%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,627	2,734	2,496	2,777	2,777		2,777		2,777
	非常勤職員	0	0	0	0	0		0		0
	小計	2,627	2,734	2,496	2,777	2,777		2,777		2,777
国庫支出金	421	421	451	451	451		451		451	
県支出金	211	211	226	226	226		226		226	
市債	0	0	0	0	0		0		0	
その他	841	841	901	901	902		902		902	
一般財源（税等）	211	211	226	226	226		226		226	
所要人数	常勤職員	0.35	0.37	0.37	0.37	0.37		0.37		0.37
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0
主な予算内訳										

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度目標値				
					実績値				
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度目標値	60	60		
					実績値	88	58		
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	146.7%	96.7%		
					年度目標値				
				実績値					
				年度別達成度					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>一次予防事業として実施している本事業であるが、介護保険法の改正により一般介護予防事業に位置づけされる。改正後は、地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行うための事業として、見直し等を行っていく必要があるため。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>今後はさらに地域における住民主体の介護予防の取り組みを強化していく必要があること、そのために介護予防活動の担い手を育成していくことが求められていることを、地域住民、参加者に理解してもらうために、普及啓発を様々な機会を捉えて行っていく。</p>